

# AirCheck G2 Wireless Tester

利用方法のトレーニング



# Wi-Fi利用者の不満と対応

---

## どのように問題通知されるか...

- “無線LANが動作しない”
- “インターネットが遅い”
- “Wi-Fiに接続できない”
- “Wi-Fiになかなか接続できない”
- “すぐに切断されてしまう”

## 考えられる問題の要因...

- APや端末の機能制限や設定ミス
- 干渉がある
- 不正持ち込み APの影響
- 不正な端末
- チャンネル・オーバーラップ
- ネットワーク過密状態
- 有線LAN側の問題

---

**問題解決を早く効果的に行うには？**



# AirCheck G2 Wi-Fi テスター

最前線で活躍される初期対応現場担当の方向けに設計されています。 “接続できない”、“すぐに切れてしまう”、“このWi-Fiは遅い”などのユーザからの不具合コールに安心して対応できます。

- 携帯性に優れた丈夫なテスター
- 起動後すぐに飛び交うWi-Fi環境情報を可視化
- 最新 802.11ac まで検証/トラブルシュート対応し、強度のみでなく接続性、設定情報、パフォーマンス問題へも対処
- 未認可デバイスの検出と位置特定



# なぜ AirCheckG2?

- 直観的な大型タッチスクリーンで簡単に利用できます
- 今までの複雑なWi-Fiトラブルシューティングは手が出せず、専門家に依頼せざるを得ませんでした。
- 業界最新の 802.11ac にも対応しているし、将来的にも安心して使用できそうです。
- 作業手順を単純化できLink-Liveクラウドにより、チームとの連携が容易になりました
- 場所や環境を選ばず利用できます。

オフィス、学校、工場、倉庫、病院、競技場、空港、  
駅構内、一般家庭、展示会場など...



George Stefanick of Free Space  
Wireless with the AirCheck G2



# 現場での利用

- 新規構築されたWi-Fiを適用した環境での検証作業に
- Wi-Fiの様々な問題への対処に活用
- 日常的な管理に活用
- セキュリティ対応に活用
- 設置位置やアンテナの方向性、レイアウト変更による影響調査に
- アクセスポイントやWi-Fi デバイスの管理に



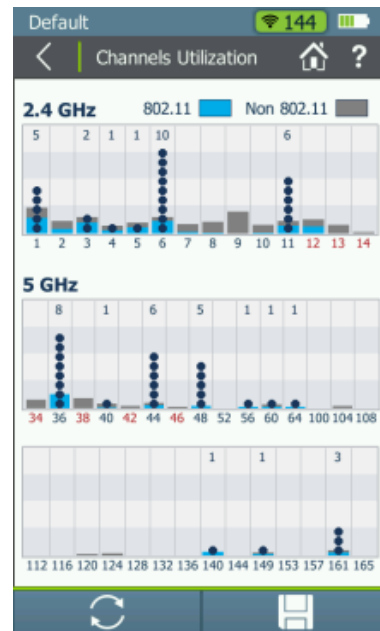
# 問題への対処

- Wi-Fiのパフォーマンスが得られないのはなぜか？
- 接続できないのは設定ミスが原因？
- 未認可のデバイスの確認と位置特定を迅速に...
- 切断は干渉や隣接Chの影響か？
- ローミング検証
- カバレッジの検証



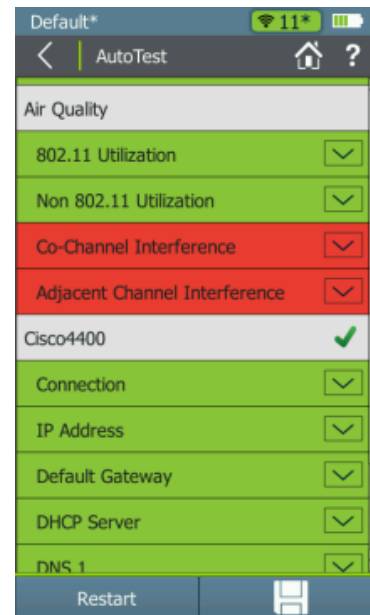
# 主な試験と測定

- チャンネル利用率: Wi-Fi & 非-Wi-Fi
- 信号強度/SN比
- 端末の可視化 – 接続済み、検索中
- 同チャンネル利用 干渉
- 隣接チャンネル干渉 (New!)
- ネットワークやAPへの接続性試験
- AP バックエンドの接続性



# 主な特徴

- 起動- 10秒以下の迅速起動
- 自動テスト – Wi-Fi環境や接続性を総合診断
- 結果の保存、確認、解析に加えドキュメントの生成
- 接続性試験の自動保存：Link-Live.comへWi-Fi/有線LANの接続試験結果を自動保存





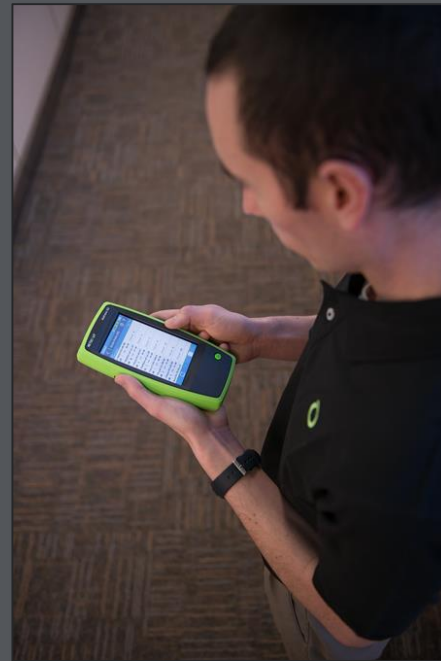
# AirCheck G2の新機能

- 802.11ac 3x3 対応... 11ac 接続試験に対応
  - タッチスクリーン... 直感的で迅速に操作可能
  - Ethernet Test... AP の有線側接続やサービス確認可能
  - Link-Live 機能... 試験結果の管理簡素化とリモートサイトとチーム連携
  - 隣接Ch干渉... 迅速に経験者の問題対処に対応
  - ローミング試験・・・接続検証に加え、ローミング試験を追加
  - 試験結果にメモ機能... 試験された箇所や状況メモでより明確に状況を把握可能
  - 拡張端子... microUSB を含め3USBを装備
- 
- 他のツールやフリーウェアでは対処できない部分まで対応可能



# USING AIRCHECK G2

- • 共通する問題の確認方法
- テスターの主要機能
- AirCheck G2 Manager
- Link-Live.com



# Wi-Fi トラブルシュート基本項目



Wi-Fi トラブルシュートは、通常4つの基本項目として「ネットワーク、チャネル、アクセスポイント、クライアント」が存在。基本項目がホーム画面に表示:

- ネットワーク (SSID)
- チャネル
- アクセスポイント
- クライアント (端末)

2つの総合テスト:

- AutoTest : Wi-Fi
- Ethernet Test : 有線側通信試験



# “Wireless が遅い”

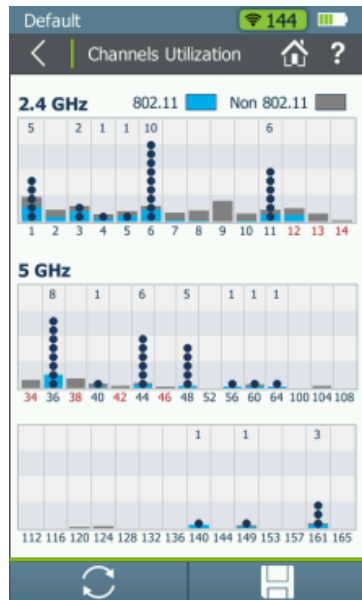


次の項目を確認:

- 同一CH上に存在する AP数?
- CH利用率で、デバイスの電波利用状況を把握
  - 古い仕様の（11b）端末やビデオデータ転送などで占有率が上がっていないか?
- 非Wi-Fi 利用率は
- どの AP にユーザが接続しているのか、サポートされている通信レートは?
- 現在の接続レートは?



# 「チャンネル」からのトラブルシューティング



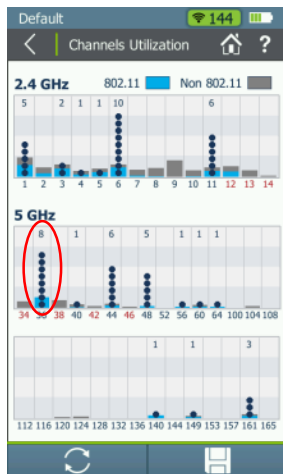
## チャンネル利用率 をクリック:

- 複数のAPが同一CHに存在していないか?
- APが、オーバラップCH (2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10/2.4GHz)に存在していないか?
- Wi-Fi (802.11) 利用率が過剰になっていないか?
- 非Wi-Fi (Non-802.11) 利用率が過剰になっていないか?
  - 干渉が起きている可能性

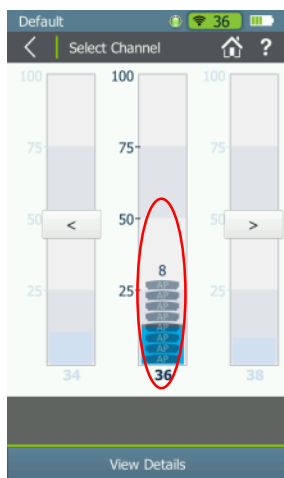




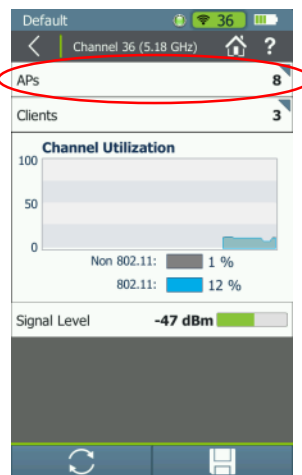
# 「チャンネル」からのトラブルシューティング



CHを選択



選択したCHを確認



CH詳細を確認



同一CHのAP詳細を確認

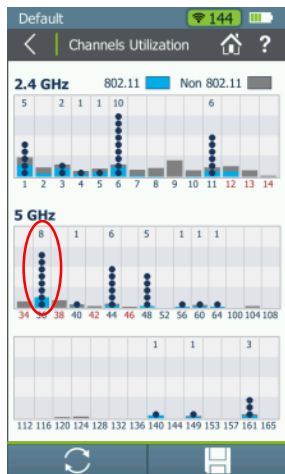
ここでは、選択したチャンネルの概要を確認します。さらに詳細を確認するため、チャンネル上をタッチするか、画面下の「詳細の表示」ボタンを利用します。もし、異なるCHを確認したい場合には、左右の矢印ボタンを利用します。

802.11利用率が高い場合、同一CH上のAP数が多く問題ではとめます。APを選択し、Ch上のAPをリスト化します。

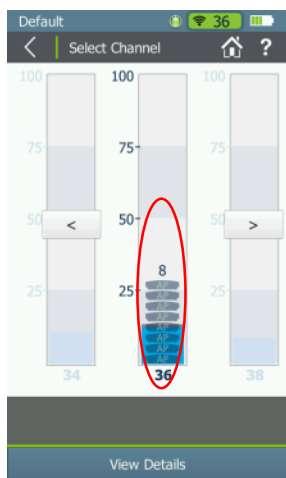
同一CH上のAPが、未認可のものである場合は、デバイスを取り除きます。認可済みのものである場合には、別CHへの設定変更を考えます。



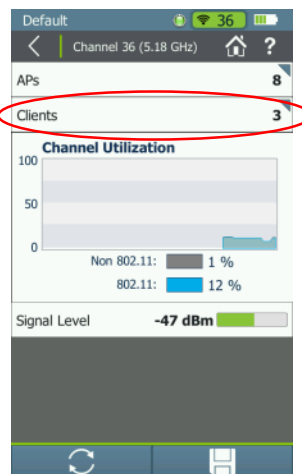
# 「チャネル」からのトラブルシューティング



CHを選択



選択CHを確認



CH詳細を確認

CH上に予定以上のクライアント（端末）が確認されている場合、「クライアント」を選択します。

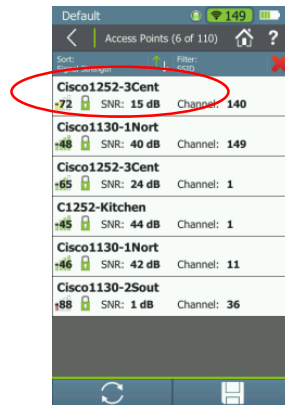
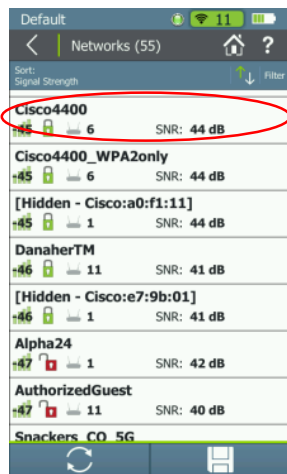


CH上の端末を確認

クライアントが同一ネットワーク上の物であり、かつ1台のAPで処理するには多すぎる場合、別CHのAPへ負荷を分散できる様に考慮します。別ネットワークが存在する場合にはネットワークを除去します。



# APに起因するトラブルシューティング



問題要因を迅速に

AP接続が遅い際に速やかに詳細を確認

Networkを選択

ネットワーク (SSID) を選択

APを選択

同一SSID内にあるAP詳細を確認

APを選択し、設定や状態を確認

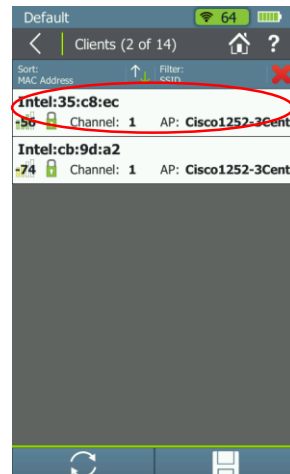
クライアント位置から各パラメータを確認:

- 信号強度、SNR: 値が低い場合、クライアントは接続しづらいか、通信レートが低くなる
- 802.11 タイプ: n/ac をサポートしているか?
- 802.11n/ac 詳細: 最大通信レート Rx/Tx, ストリーム数, MCS 状態も確認





# クライアントに起因するトラブルシューティング



問題要因を迅速に

ネットワークを選択

クライアントを選択

クライアントを選択し、設定や状況を確認

接続が遅いクライアント  
確認へ速やかに詳細を確認

主なパラメータを確認:

- 接続レート
- AP位置からの信号強度と SNR : 非常に弱い場合には、端末は非常に低い通信レートでの接続
- 802.11 タイプ: n/ac などがサポートされていない場合、通信レートが低いのみでなく、他の通信へも営業を与えてしまう





# “Wi-Fiに接続できない”

次の項目を確認:

- Wi-Fiネットワーク上のAP 信号強度、 SNR カバレッジ
- AP 設定 (SSID, セキュリティ, 802.11 種別)
- 端末設定
- CH負荷が大きい：過剰利用
- 端末利用位置から、 AirCheck G2 で接続可能か?
- ネットワーク基本サービスへの接続性: DHCP, DNS, インターネットへのアクセス
- AP 背後の状況：無線LANコントローラや有線LAN側





# 「ネットワーク」からのトラブルシューティング



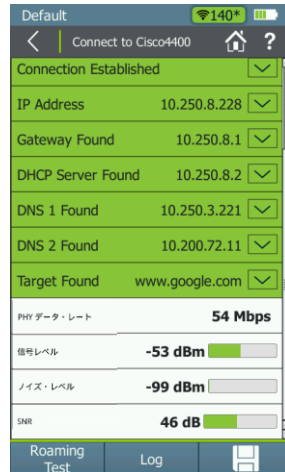
## ネットワーク

ネットワークの状況を診断。信号強度とSNRが良好であるか？少なくともAPが1台以上確認できているか？



## ネットワーク

セキュリティと802.11タイプを確認。端末と適合しているか。必要に応じ、各々のAP詳細を確認



## 接続

テスターから接続試験を実施し、接続可能であれば、端末側の問題であり、テスターでも接続できないようであればどこで不具合が起きるのか確認する。



## 接続

接続試験の途中で一部項目で赤く不具合となった場合、その箇所を確認:

- 認証での不具合
- DHCP でアドレス取得
- DNS が利用不可





# 自動テストによる試験



## 自動テスト

「自動テスト」実施により、基本項目の試験をもれなく迅速に実施します

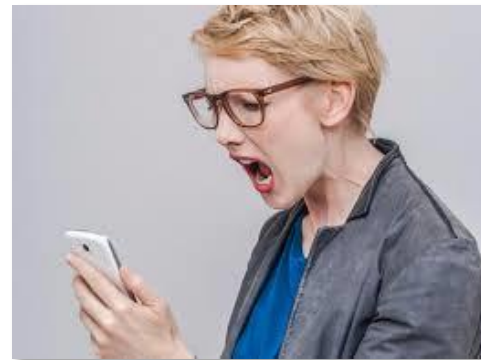


# “切断される/接続できない”

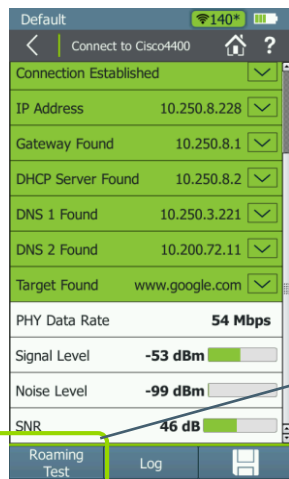


次の項目を確認:

- AP 設定
- 端末設定
- 過剰なCH利用が無い
- 干渉 (非802.11 チャンネル利用率)
- ローミング
- 利用エリア内での無認可デバイスの存在
- AirCheckG2を利用して、端末位置から接続可能であるか確認

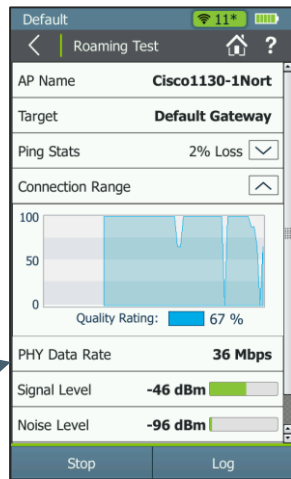


# 「ネットワーク」トラブルシューティング



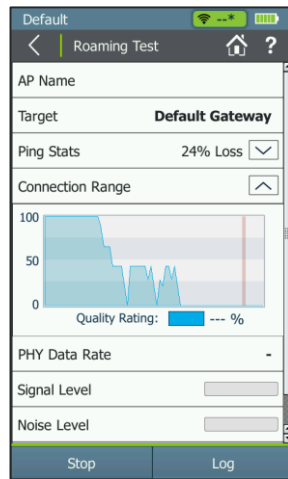
## 接続試験

接続試験を実施し、AirCheckG2で接続できた場合、端末側の設定を確認



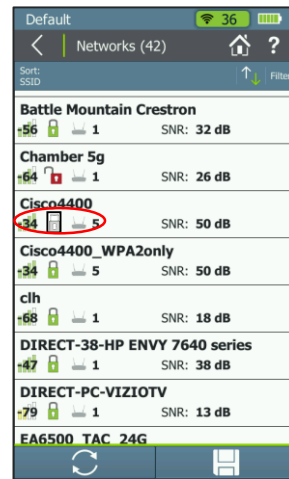
## ローミングテスト

ローミングテストを実施すると、同一ネットワーク（SSID）を持つAPを移行していくか確認可能



## ローミングテスト

ローミングがうまくいかない場合、AP側での設定ミスまたは構成されていない可能性がある。



## ネットワーク

ネットワークリストで、セキュリティ項目が表示の様なアイコンになっている場合、複数のセキュリティ設定が複合されている事が考えられる。どのAPが、異なっているのか、さら詳細を確認すべきである。

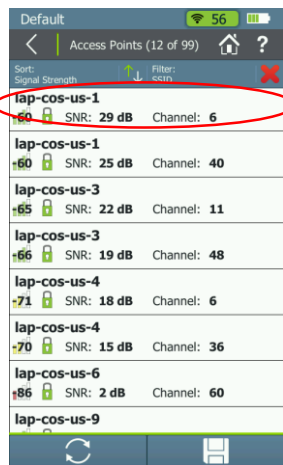


# 「チャネル」トラブルシューティング



問題要因を迅速に

network 画面より、  
「なぜユーザが切断されるのか」迅速に詳細確認



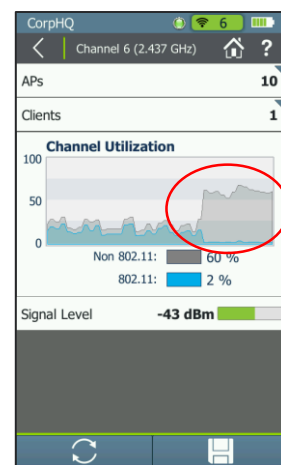
APを選択

信号強度順でソート表示  
すると、近辺にあるAPが  
上方に表示される。  
利用されているCHを特定



チャネルを選択

チャネルの状況を確認で  
きる



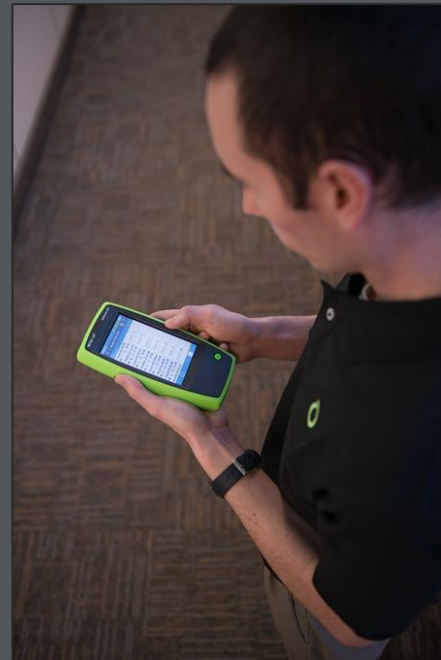
チャネル

画面では、選択したCHの  
利用率が上昇している状  
況を確認できる。数秒前  
から、non-802.11（非  
WiFi）の利用率が高く  
なっているので、干渉が  
発生しWi-Fiの通信切断が  
起こりえる事を確認



# USING AIRCHECK G2

- 共通する問題の確認方法
- テスターの主要機能
- AirCheck G2 Manager
- Link-Live.com





# 自動テスト – Air Quality (電波品質)



## 動作/判定

すべてのCHをスキャンし、  
条件に適合しているか否かを判定

緑 = 合格  
黄 = 注意  
赤 = 不合格



## Ch使用率

使用率は、2.4G/5G各々の帯域  
で、802.11/非802.11共にTop3  
CHを表示



## 同一CH干渉

各CH上に、何個のAPが存在  
しているか確認できる。  
3APまではOKと診断



## 隣接チャネル干渉

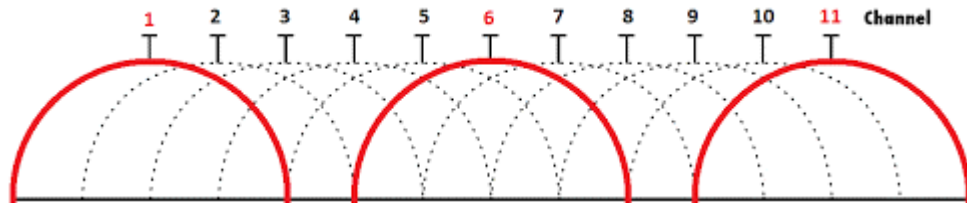
この試験は 2.4 GHz 帯のみ実施  
オーバーラップするCH上のAP数を表示



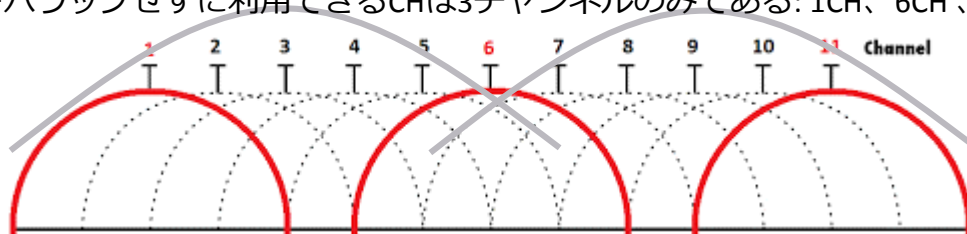
# 自動テスト – ACI（隣接チャネル干渉）

## ACIとは？

ACI = number of APs on other channels that overlap with the channel on which your AP is on



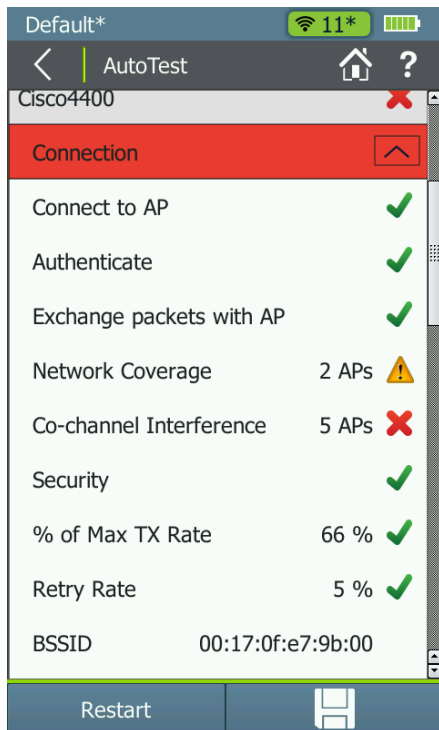
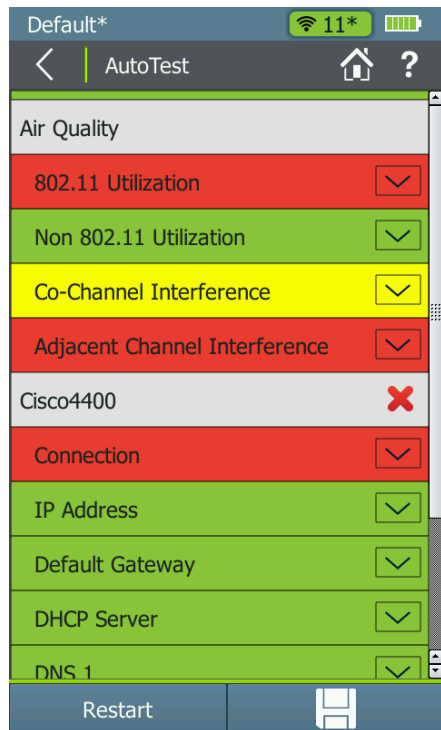
- 2.4 GHz 帯では、CH間は 5 MHz しか離れていないが通信帯域は 20 MHz であり、オーバーラップが起きやすい
- APをCH3で利用した場合、1, 2, 4, 5, 6に帯域が重なる。これを隣接CH（ACI）と呼ぶ
- オーバラップせずに利用できるCHは3チャンネルのみである: 1CH、6CH、11CH



- チャンネルボンディングにより 40 MHz の通信帯域を利用すると、オーバーラップ無しに利用できるのはわずか 1 CHのみ



# AutoTest – ネットワークテスト



## ネットワークテスト

- 自動試験により、設定に含まれたネットワークへの接続試験を実施。
- 接続試験結果の表示には、パッシブスキャンを行った結果も含む:
  - Network カバレッジ
  - 同一CH 干渉
  - セキュリティ
  - 注記: 単に接続完了のみで無く、同一CHでの複数AP検出、ネットワーク内のAP数等の条件も含まれる
- DHCP によるIPアドレス取得、DNS適合など基本接続性試験結果
- 接続試験結果は Link-Live にアップロード



# Ethernet テスト

Default 34

< Ethernet Test

POE Found, 50.5 Volts

Link 100 Mbps/full

Port COS\_DEV\_SW1.fnet.eng

DHCP 10.250.9.214

Default Gateway 10.250.8.1

Network www.google.com

Upload Results to Link-Live

Restart DHCP Log

## アクセスポイント背後のEthernet検証試験

- 有線LAN上に PoEが提供されているか否か
- リンクスピード、デュプレクス
- ポート: 接続されているスイッチモデル、ポートなどの情報
- ネットワーク上の基本サービスへの接続性を検証
- Link-Liveへ結果をアップロード



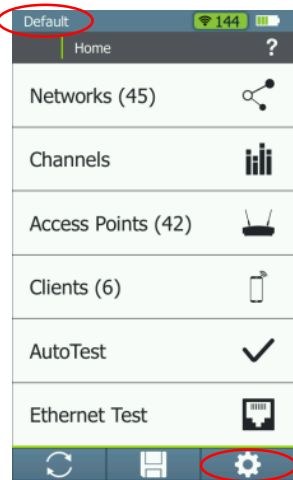
# プロフィール

---

- 任意設定やコンフィグはプロフィールに記録
  - ネットワークへの接続条件（ユーザ/パスワード）、判定閾値、ターゲット先、フィルターなど.
  - デバイス設定は含まれない
- シナリオやサイトに応じたプロフィール活用
  - サイト毎にプロフィールを作成
  - サービスに応じた閾値設定をプロフィールに適用:  
音声用Wi-Fi（VoFi）、web/email, ゲスト接続、社員用アクセス、など.
- プロファイルはテスターまたは AirCheck G2 マネージャソフトで保存、管理可能



# プロフィール



プロフィール名

現在適用されているプロフィール名は、画面左上に表示。左上のプロフィール名か、設定アイコンからプロフィールを選択



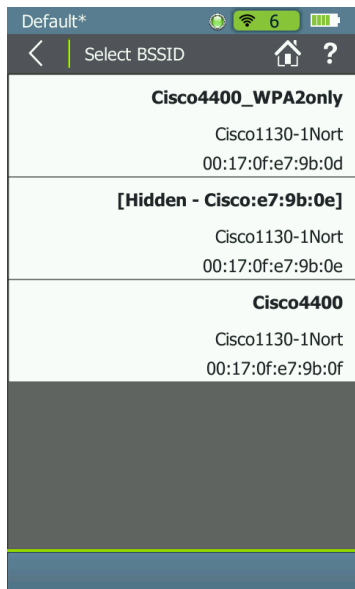
プロフィールを選択



プロフィール設定

プロフィールの読み込み、保存、追加、削除の管理が可能

# マルチSSIDを持つAP



- グループ化

- マルチSSIDを有するAPでは、各々個別の BSSIDを持つ。
- AirCheck G2 では、同一APのマルチSSIDをグループ化して管理/可視化。802.11設定にて、仮想グループOn/Off設定変更が可能
- マルチSSIDを持つAPでは図の様に表示される

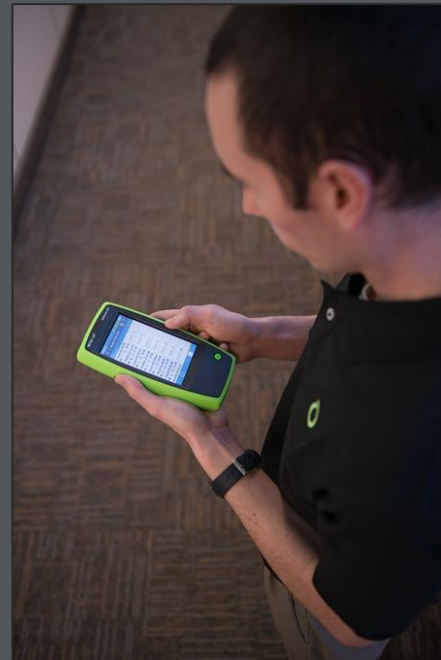
- スクリーン・キャプチャ

- 画面右上のヘルプアイコン「?」をビープ音が聞こえるまで長押しで、画面を保存可能。



# USING AIRCHECK G2

- 共通する問題の確認方法
- テスターの主要機能
  - - Ver2 情報
- AirCheck G2 Manager
- Link-Live.com





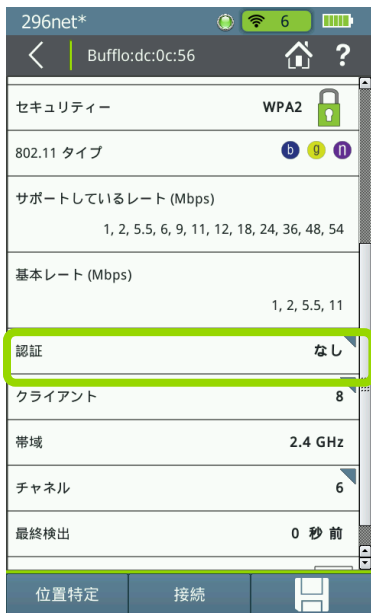
# キャプティブポータル サポート

公共のWi-FiなどWebゲストアクセスや利用規約の同意が必要な際も、キャプティブポータル機能により、規約同意やゲストアクセス画面に対応



# 認可クラス対応

セキュリティ向上のため、利用しているAPをクラス分けし、勝手に持ち込まれた未認可のAPを即座に判別



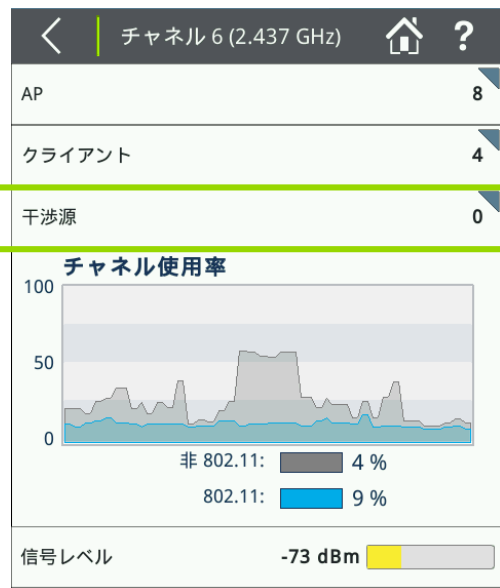
The screenshot shows a list of detected Wi-Fi networks. The list is sorted by name (名前) and includes a filter button (フィルター). Each entry shows a signal strength icon, a lock icon, the network name, SNR, and channel.

| Signal Strength | Lock | Network Name    | SNR   | Channel |
|-----------------|------|-----------------|-------|---------|
| -54             | Lock | Bufflo:dc:22:70 | 35 dB | 11      |
| -61             | Lock | Bufflo:dc:22:74 | 28 dB | 44      |
| -64             | Lock | Bufflo:e1:78:f0 | 25 dB | 9       |
| -74             | Lock | Bufflo:e1:78:f5 | 15 dB | 48      |
| -69             | Lock | Bufflo:e5:4b:05 | 19 dB | 11      |
| -63             | Lock | Cisco:98:a7:20  | 26 dB | 36      |
| -55             | Lock | Cisco:98:a7:21  | 37 dB | 1       |
|                 | Lock | Cisco:98:a7:2a  |       |         |



# 干渉源の検出と識別

AirCheckG2 ver2では、特別なハードウェアの追加無しに、内部Wi-Fi機能を利用して、電子レンジ、無線カメラなど干渉源の検出や分類



# その他の拡張機能

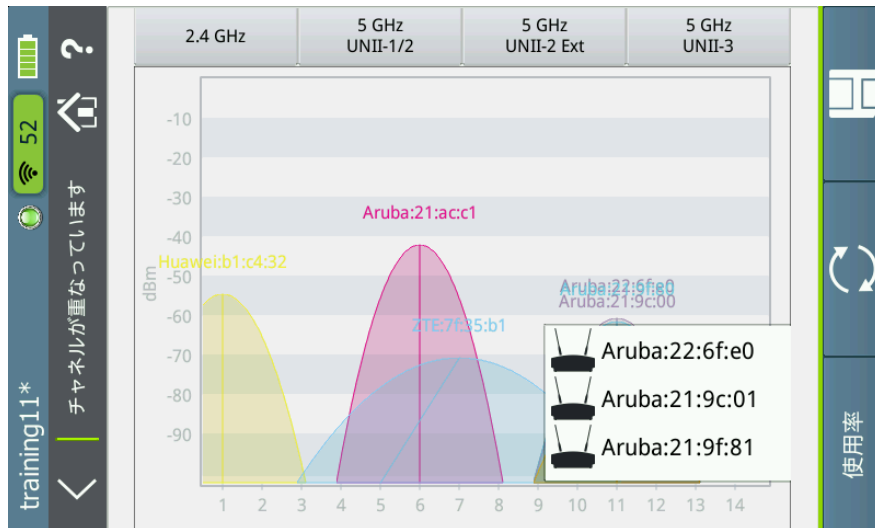
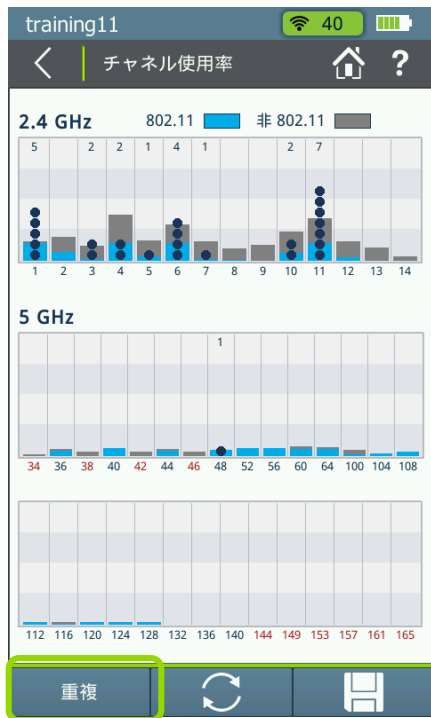
---

チャネルの重複、サポート通信レートと基本通信レート、パケットキャプチャ機能など細やかな点に関しても拡張

- チャネル重複
- サポート通信レートと基本通信レート
- パケットキャプチャ



# チャンネル重複



# 通信レート

サポートレートに基本レート情報が加わることで、APの基本性能と実利用時の基本レートを確認することが可能となりました。



# パケットキャプチャ

The screenshot shows the 'セッションの保存' (Save Session) screen of the 296net\* application. The interface is in Japanese and includes the following elements:

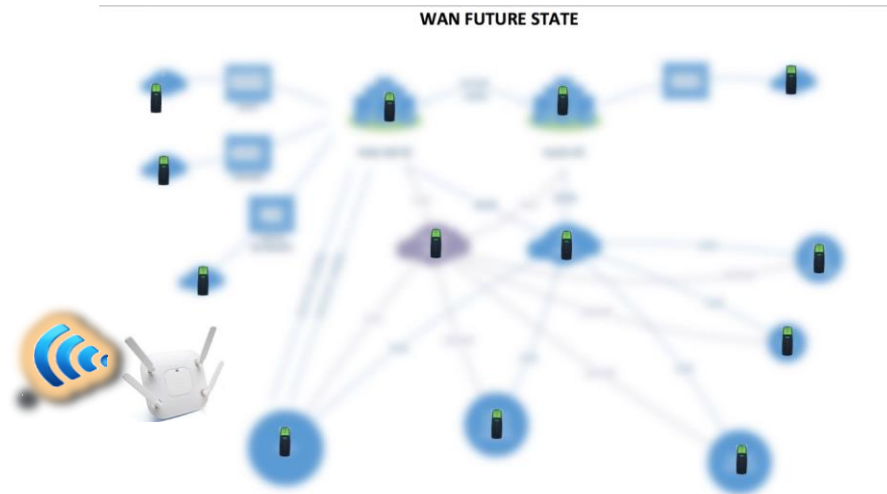
- Header: 296net\* status bar with signal, Wi-Fi, and battery icons.
- Navigation: Back arrow, home icon, and search icon.
- Form Fields:
  - ファイル名 (File Name): Session0059.acsx
  - ロケーションの追加 (Add Location)
  - メモの追加 (Add Memo)
  - パケット・キャプチャを保存 (Save Packet Capture): A green toggle switch labeled 'オン' (On).
  - キャプチャ・ファイル名 (Capture File Name): Session0059.pcap
  - キャプチャ・ファイル・サイズ (Capture File Size): 32 MB, with a dropdown menu showing options: 32 MB, 64 MB, 128 MB, 256 MB, and 512 MB.
  - 残り容量 (Remaining Capacity): 999 MB
- Buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '適用' (Apply) at the bottom.

- データ保存の際に合わせ、テスターから直接キャプチャデータの保存が可能となりました。



# パフォーマンス試験への対応

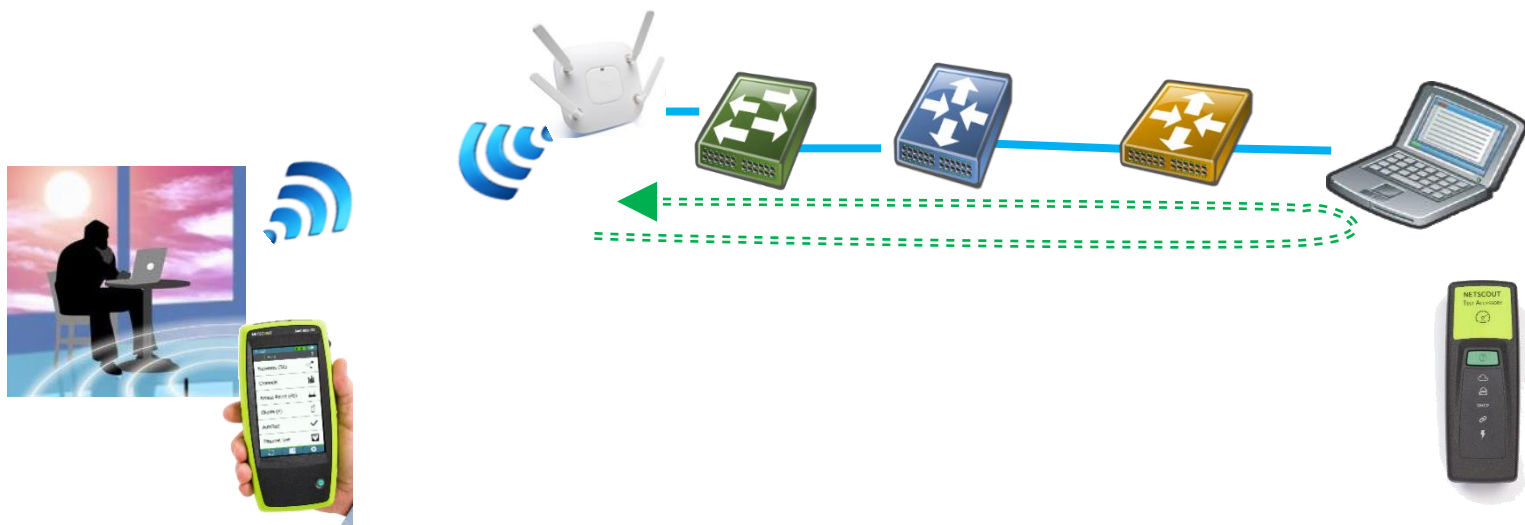
- AirCheckG2v2 とTESTACC (テストアクセサリ) でパフォーマンス・テストを実現



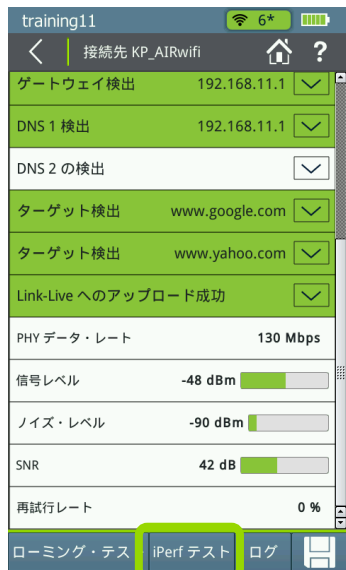


# パフォーマンス試験への対応

AirCheckG2からiPerfサーバへ iPerfテストを実行する事で、利用位置からユーザが感じるWi-Fi パフォーマンスを迅速かつ簡単にテストできるようになりました。iPerf サーバはお客様がご利用されているPCベースの物に加え、新しいアクセサリをご利用いただけます。



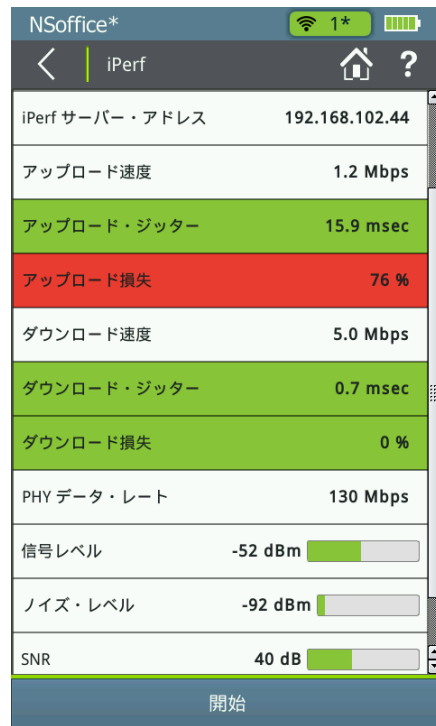
# 実際のパフォーマンステスト



接続試験後に  
iPerf Testを実施

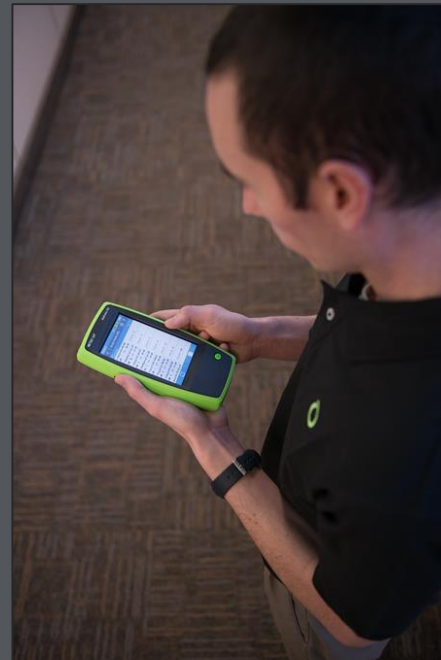


利用可能な  
ターゲットを選択

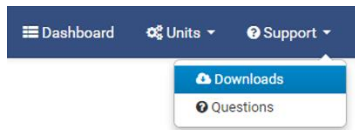


# USING AIRCHECK G2

- 共通する問題の確認方法
- テスターの主要機能
- AirCheck G2 Manager
- Link-Live.com



# AirCheck G2 管理ソフト



- Link-Liveより AirCheck G2 Manager をダウンロード。サポートから、Downloadを選択.
- AirCheck G2 Managerをインストールし起動



microUSB  
ポートから、  
PCへ接続

- USB-マイクロUSBケーブルでPCとAirCheckG2本体を接続.



- See AirCheck G2 Manager はテスターが接続されていたことを認識すると「接続」ステータスになる。接続が確認できない場合、「切断」を表示される



# AirCheck G2 管理ソフト

NETSCOUT AirCheck G2 Manager

Connected | Session Details | AutoTest | Networks | Channels | Access Points | Clients | Connection Details | Ethernet

Session Data

Profile Setup

Device Info

Reports

Transfer

Browse

Device Info

Serial Number: HM3004E | Software Version: 1.0.0.1304

WLAN MAC: 6C:0B:84:1E:76:3B | Country Setting: Singapore

Ethernet MAC: 00:C0:17:35:00:66

Session

Name: Session000 | Date/Time: 4/22/2016 2:59:13 PM | Duration: 00:21:39

Profile: Default

Location: | Notes: | Save

|   | Name       | Duration | Profile Name | Serial Number | WLAN MAC          | Ethernet MAC      | Software Version | Country Setting | Date/Time             |
|---|------------|----------|--------------|---------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|-----------------------|
| ✕ | Session000 | 00:21:39 | Default      | HM3004E       | 6C:0B:84:1E:76:3B | 00:C0:17:35:00:66 | 1.0.0.1304       | Singapore       | 4/22/2016 2:59:13 PM  |
| ✕ | Session001 | 00:00:35 | Default      | HM3004E       | 6C:0B:84:1E:76:3B | 00:C0:17:35:00:66 | 1.1.0.1328       | Singapore       | 5/16/2016 11:00:00 AM |
| ✕ | Session002 | 00:01:47 | Default      | HM3004E       | 6C:0B:84:1E:76:3B | 00:C0:17:35:00:66 | 1.1.0.1328       | Singapore       | 5/16/2016 11:00:00 AM |
| ✕ | Session003 | 00:02:52 | Default      | HM3004E       | 6C:0B:84:1E:76:3B | 00:C0:17:35:00:66 | 1.1.0.1328       | Singapore       | 5/16/2016 11:00:00 AM |
| ✕ | Session004 | 00:02:14 | Default      | HM3004E       | 6C:0B:84:1E:76:3B | 00:C0:17:35:00:66 | 1.1.0.1328       | Singapore       | 5/16/2016 11:00:00 AM |
| ✕ | Session005 | 00:01:27 | Default      | HM3004E       | 6C:0B:84:1E:76:3B | 00:C0:17:35:00:66 | 1.1.0.1328       | Singapore       | 5/17/2016 11:00:00 AM |

Settings | Help

## セッションデータ

- AirCheck G2テスターからセッションファイルを転送
- セッションをブラウズし、詳細を表示

## プロファイル設定

- プロファイルの作成や編集
- プロファイルの転送 PC <-> AirCheck G2

## デバイス情報

- AirCheck G2 ファームウェア更新
- キャプチャした画像の転送

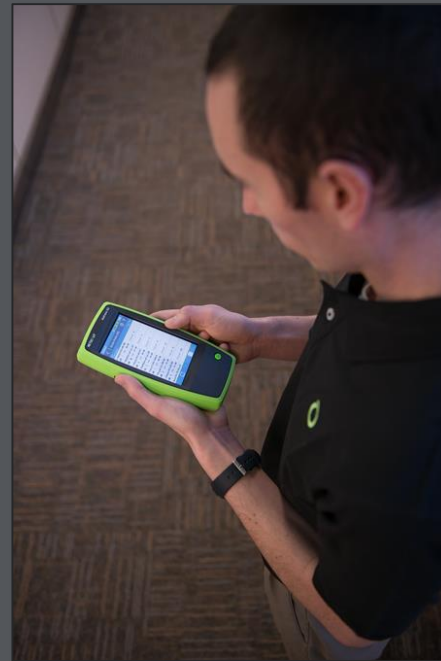
## レポート

- セッションファイルから、レポート生成



# USING AIRCHECK G2

- 共通する問題の確認方法
- テスターの主要機能
- AirCheck G2 Manager
- • [Link-Live.com](https://link-live.com)



# Link-Live.com : 登録

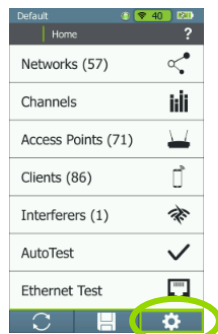


- “Link-Live.com” にアクセスし、アカウントを作成
- ユニットの登録: 登録追加アイコンを選択の上、“AirCheck G2”アイコンをクリックし選択。
- 手順に従い、新しいテストの登録を完了させます。



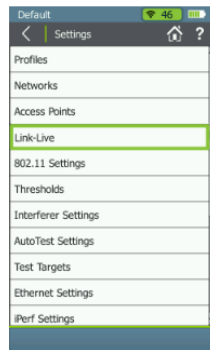
## テスター接続

インターネットにアクセスできる有線ラインに、RJ45ポートを接続



## 設定アイコン

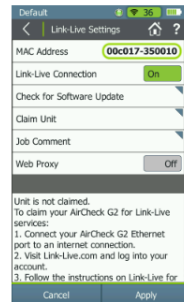
設定アイコンを選択



## Link-Live選択

Ver3の場合は設定画面直下にある。

Ver2以前の物は、デバイス設定画面内のLink-Liveを選択



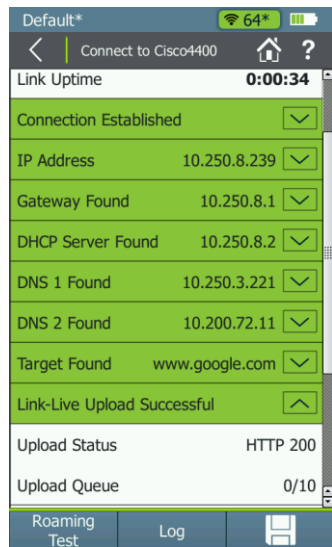
MAC Address: 00C017 -

## MAC 情報および登録

表示されたテスト画面に、MAC情報が記載されています。この情報を元に、右のMAC情報を記載し、「Listen」ボタンを押し、情報確認と同期をとり、登録完了となります。



# Link-Live.com : 利用



- Wi-Fi通信結果、または有線接続テスト結果をLink-Liveクラウドに自動送信し、結果の集積、データの共有、複数テスト結果のドキュメント化にご利用いただく事ができます。
- Link-Live通信が確立しない場合でも、テスター内に10件まで保存可能であり、次回接続成功時にアップロードされます。
- アップロード結果は、各接続テスト毎に表示されます。
- Ver3.0 以降は、接続試験結果だけでなく、セッション情報、パケットキャプチャ、画面情報もアップロードする事が可能となりました。





# Link-Live.com

| Results                            | Summary  | Details | Period: 1d 7d 30d 1y All  | Ending: 05/24/2016   | Show: [icon] [icon] [icon] All  | Q   | Enter  |
|------------------------------------|--|---------|---|--|---|---|--|
| Time                               | Test   | POE     | Link  | Access   | DNCS  | Gateway   | WWW  |
| 3:24:24pm                          | Device: AirCheckG2<br>Test Type: wireless<br>AutoTest: fccba0e05b511e6-bffe-1a8756<br>Images: [icon]<br>Comments: [icon]   |         | Signal (dBm): -43<br>Noise (dBm): -96<br>SNR (dB): 53                                       | BSSID: 001e4627e830<br>Channel: 11<br>802.11 Types: bg   | Subnet: 255.255.254.0<br>DNS1: 10.250.1.221<br>DNS1 PING (ms): 1, 1, 5<br>DNS2: 129.196.196.25<br>DNS2 PING (ms): 1, 1, 1   | Public IP: 74.202.20.245  | Time (ms): 63, 64, -   |
| Apr 18, '16<br>Monday<br>3:32:39pm | Name: John Anderson's AirCheckG2<br>MAC: 000017-350005<br>Device: AirCheckG2<br>Test Type: wireless<br>AutoTest: bc363614405b511e6-bffe-1a8756<br>Images: [icon]<br>Comments: [icon] |         | PHY Data Rate: 24<br>Retry Rate: 4<br>Signal (dBm): -46<br>Noise (dBm): -96<br>SNR (dB): 50 | BSSID: Cisco4400<br>AP Name: Cisco1130-25out<br>BSSID: 001e4627e830<br>Channel: 11<br>802.11 Types: bg | IP: 10.250.9.77<br>Server: 10.250.8.2<br>Subnet: 255.255.254.0<br>DNS1: 10.250.1.221<br>DNS1 PING (ms): 1, 1, 2<br>DNS2: 129.196.196.25<br>DNS2 PING (ms): 2, 19, 1 | IP: 10.250.8.1<br>PING (ms): 7, 1, -<br>Public IP: 74.202.20.245  | URL: www.google.com/PING<br>IP: 216.58.193.68<br>Time (ms): 66, 77, 64 |
| Apr 18, '16<br>Monday<br>3:32:39pm | Name: John Anderson's AirCheckG2<br>MAC: 000017-350081<br>Device: AirCheckG2<br>Test Type: wireless<br>AutoTest: 1da569e056e11e6-8615-522b<br>Images: [icon]<br>Comments: [icon]     |         | PHY Data Rate: 48<br>Retry Rate: 2<br>Signal (dBm): -46<br>Noise (dBm): -96<br>SNR (dB): 50 | BSSID: Cisco4400<br>AP Name: Cisco1130-25out<br>BSSID: 001e4627e830<br>Channel: 11<br>802.11 Types: bg | IP: 10.250.9.78<br>Server: 10.250.8.2<br>Subnet: 255.255.254.0<br>DNS1: 10.250.1.221<br>DNS1 PING (ms): 1, 1, 1<br>DNS2: 129.196.196.25<br>DNS2 PING (ms): 1, 1, 1  | IP: 10.250.8.1<br>PING (ms): 14, 6, 6<br>Public IP: 74.202.20.245 | URL: www.google.com/PING<br>IP: 216.58.217.36<br>Time (ms): 47, 55, 57 |
| Apr 18, '16<br>Monday<br>3:30:34pm | Name: John Anderson's AirCheckG2<br>MAC: 000017-350005<br>Device: AirCheckG2<br>Test Type: wireless<br>Images: [icon]<br>Comments: [icon]  |         | PHY Data Rate: 48<br>Retry Rate: 3<br>Signal (dBm): -45<br>Noise (dBm): -96<br>SNR (dB): 51 | BSSID: Cisco4400<br>AP Name: Cisco1130-25out<br>BSSID: 001e4627e830<br>Channel: 11<br>802.11 Types: bg | IP: 10.250.9.77<br>Server: 10.250.8.2<br>Subnet: 255.255.254.0<br>DNS1: 10.250.1.221<br>DNS1 PING (ms): 7, 7, 12<br>DNS2: 129.196.196.25<br>DNS2 PING (ms): 7, 1, 1 | IP: 10.250.8.1<br>PING (ms): 7, 6, 9<br>Public IP: 74.202.20.245  | URL: www.google.com/PING<br>IP: 216.58.193.68<br>Time (ms): 73, 63, -  |
| Apr 18, '16<br>Monday<br>3:26:55pm | Name: John Anderson's AirCheckG2<br>MAC: 000017-350005<br>Device: AirCheckG2<br>Test Type: wireless<br>Images: [icon]  |         | PHY Data Rate: 48<br>Signal (dBm): -45<br>Noise (dBm): -96<br>SNR (dB): 51                  | BSSID: Cisco4400<br>AP Name: Cisco1130-25out<br>BSSID: 001e4627e830<br>Channel: 11<br>802.11 Types: bg | IP: 10.250.9.77<br>Server: 10.250.8.2<br>Subnet: 255.255.254.0<br>DNS1: 10.250.1.221<br>DNS1 PING (ms): 78, 1, -<br>DNS2: 129.196.196.25                            | IP: 10.250.8.1<br>PING (ms): 12, 3, 1<br>Public IP: 74.202.20.245 | URL: www.google.com/PING<br>IP: 216.58.193.68<br>Time (ms): 64, 66, 65 |

- リモートサイトで、他のメンバーが遭遇している問題をWeb上で結果として確認できます。
- 複数の結果の表示、管理を行えます。いくつかのサイト、複数のテスト、時期、メンバーなど...
- コメントや画像など追加可能
- ソート、フィルター、ファイル化に対応
- レポート作成



# Link-Live.com

Anderson, John J | Link-Live  
RE: Result Notification from John Anderson's AirCheckG2 2 (00C017-350081)

## This test was done in my cube

From: Link-Live [mailto:notifications@linkprinter.io]  
Sent: Tuesday, May 24, 2016 10:34 AM  
To: Anderson, John J <john\_anderson@netally.com>  
Subject: Result Notification from John Anderson's AirCheckG2 2 (00C017-350081)

Reply above the line to add a comment to this result. Comment limited to 140 characters.



PHY: 54  
Signal: (dBm): -53  
Noise: (dBm): -99  
SNR: (dB): 46



Cisco1130-1Nort  
SSID: Cisco4400  
BSSID: 00:17:0f:e7:9b:0f  
Advertise: a  
Channel: 64



10.250.8.239  
Server: 10.250.8.2  
Subnet: 255.255.254.0  
DNS1: 10.250.3.221  
DNS1 Ping (ms): 1,1,1  
DNS2: 10.200.72.11  
DNS2 Ping (ms): 1,1,1



10.250.8.1  
Public IP: 74.202.20.245  
Ping (ms): 14, 9, 5



| Results                              |  | Summary | Details | Period: 1d 7d 30d |
|--------------------------------------|--|---------|---------|-------------------|
| Time                                 | Test   |         |         |                   |
| May 24, '16<br>Tuesday<br>10:34:00am | Name: John Anderson's AirCheckG2 2<br>MAC: 00C017-350081<br>Device: AirCheckG2<br>Test Type: wireless<br>Images:<br>Comments:<br>This test was done in my cube |         |         |                   |

## その他

- E-Mailアドレスを登録してあると、テスト結果はメールでも確認可能
- また、メールの最上部にコメントをつけて返信すると記載した事項がカテゴリ分けされ、Link-Liveに保存。





<http://netally.com/>  
Email: [info@netally.com](mailto:info@netally.com)

